



SGH 課題研究発表会 NEWSLETTER

第3号
2019/3/11

発行：横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校 サイエンス・グローバル事務局

事前学習資料 SDGs? MDGs?

1. 今週末! SGH 課題研究発表会当日までに考えておきましょう

今回のキーワード

MDGs → **SDGs**
2003-2015 2016-2030

今週金曜日に SGH 課題研究発表会が開かれます。前回の第2号でも触れたように、今回は国連 SDGs (持続可能な開発目標) について理解を深めましょう。当日は SGH 指定校として、学校全体で地球規模の問題について考える時間です。SDGs への理解を深めるとともに、自分たちの選んだテーマとの関連についても考え、高校生として何ができるかを考える時間にしてほしいと思っています。

2. 2015年に達成期限を迎えたMDGs「ミレニアム開発目標」

MDGs: Millennium Development Goals (ミレニアム開発目標) は、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標と、2000年9月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットにおいて採択された国連ミレニアム宣言を統合した共通の枠組みです。

【8つのゴールと21のターゲット】

この MDGs は、8つのゴール(右表参照)と21のターゲットとして発表され、全193の国連加盟国と23の国際機関が、2015年までにこれらの目標を達成することに合意しました。それから15年間、世界のための中心的な開発の枠組みとして用いられた MDGs は、2015年末にその達成期限を迎えました。この間、世界の各地域で実施されている貧困対策の進捗状況は、20を超える国連・国際機関が集計した包括的なデータを基に、毎年モニタリングと分析が加えられていきました。

【MDGsの成果と課題】

潘基文(パン・ギムン)国連事務総長(当時)は、2015年7月6日、「ミレニアム開発目標(MDGs)報告2015」を発表し、「極度の貧困をあと一世代でこの世からなくせるところまで来た」と成果を強調しました。実際、開発途上国で「1日1ドル25セント未満」という極度の貧困で暮らす人々の割合は、1990年は人口の47%を占めていましたが、昨年の報告では14%にまで減少しています。また、初等教育の就学率も2000年に83%だったものが、91%に改善されています。しかし一方、5歳未満の子どもや妊産婦の死亡率の削減については、改善は見られたものの目標の水準に遠く及ばず、女性の地位についても、就職率や政治参加の観点で、男性との間に未だ大きな格差が残っています。また、報告は、二酸化炭素の排出量が1990年から50%以上も増えていることに触れ、気候変動が開発の最も大きな脅威になっていると警鐘を鳴らしています。



【ミレニアム開発目標の8つのゴール】

- | |
|----------------------------------|
| 1. 極度の貧困と飢餓の撲滅 |
| 2. 普遍的初等教育の達成 |
| 3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上 |
| 4. 幼児死亡率の削減 |
| 5. 妊産婦の健康の改善 |
| 6. HIV/AIDS、マラリアその他疾病の蔓延防止 |
| 7. 環境の持続可能性の確保 |
| 8. 開発のための Global Partnership の推進 |

2. 国連の新たな目標 SDGs

【SDGs(持続可能な開発目標)とは】

SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) は、2015年9月、ニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、新しい持続可能な開発アジェンダとして採択されたもので、2016年1月1日に正式に発効しました。SDGsはミレニアム開発目標(MDGs)の成果を土台としながら、あらゆる形態の貧困に終止符を打つための取り組みを、さらに進めることをねらいとしています。

【ミレニアム開発目標との違い】

新たなグローバル目標は、MDGsの成果と勢いを土台としつつ、不平等や経済成長、働きがいのあるきちんとした仕事、都市と人間居住、工業化、海洋、生態系、エネルギー、気候変動、持続可能な消費と生産、平和と正義に取り組むという意欲から、さらに幅広い分野を対象とするものになっています。

ミレニアム開発目標(MDGs)が、8つのゴールと21項目のターゲットで構成されていたのに対し、持続可能な開発目標(SDGs)のゴールは17あり、ターゲットも169項目と多数に上ります。

【「持続可能」という言葉が意味すること】

SDGsが幅広い範囲をカバーしているのは、経済成長、社会システム、環境保護という、相互に関連する(時に相反する)要素に取り組んでいるためでもあります。

MDGsが開発途上国、特に最貧国を対象としていたのに対し、SDGsは先進国、途上国を問わず、すべての国々を対象としています。つまりSDGsの特徴として、「豊かさを追求しながら、地球を守る」ための行動を、**貧しい国、豊かな国、中所得国を含むすべての国々に求めている**という点が挙げられます。貧困に終止符を打つためには、経済成長を推進する一方で、教育や、社会的保護、雇用機会といった幅広い社会的なニーズに取り組みつつ、気候変動対策や環境保護を図る戦略が必要だという認識があるからです。

例えば、途上国のインフラを整備し経済成長を進めることは、環境破壊につながるかもしれませんし、逆に環境保護を強固に進めれば、途上国の経済発展を遅らせることとなります。**SDGsの17のゴールを達成するには、1つのゴールだけを見るのではなく、それ以外のゴールへの影響や互いのバランスを考慮する必要があります**です。「持続可能」という言葉が多く使われている理由がそこにあります。



【2030年までに達成すべき新たな17のゴール】

1. あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
2. 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、**持続可能な農業**を推進する
3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
4. すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
5. ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
6. すべての人々に水と衛生へのアクセスと**持続可能な管理**を確保する
7. 全ての人々に手ごろで信頼でき、**持続可能**で近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
8. すべての人々のための持続的、包摂的かつ**持続可能な**経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
9. レジリエントなインフラを整備し、包摂的で**持続可能な**産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
10. 国内および国家間の不平等を是正する
11. 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ**持続可能**にする
12. **持続可能な**消費・生産のパターンを確保する
13. 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
14. 海洋と海洋資源を**持続可能な**開発に向けて保全し、**持続可能な**形で利用する
15. 陸上生態系の保護、回復および**持続可能な**利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
16. **持続可能な**開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
17. **持続可能な**開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

※レジリエント(resilient)「耐久性のある、折れない」



今回の分科会で話し合うテーマや皆さんのSLでの研究テーマがSDGsの17のゴールとどのような関連があるか考えてみましょう。